

午 後

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午後の試験問題数は 64 問で、解答時間は 1 時間 55 分です。

医学一般

問題 57 医療及び介護における資格と業務に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 医師でなければ、医業をしてはならない。
- B 看護師は、傷病者若しくはじょく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行う。
- C 介護福祉士が介護を行う際、医師の指示を必要とする。
- D 理学療法士は、医師の指示の下に理学療法を行う。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

問題 58 「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」における成人男性の1日当たりの目標値として、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食塩摂取量15g以下
- B 脂肪エネルギー比率25%以下
- C 野菜の摂取量350g以上
- D 日常生活における歩数5,000歩以上

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 59 人体の器官・組織とその機能等に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 下垂体――ホルモン分泌
- 2 蝸牛――聴覚
- 3 ヒス束――心臓の刺激伝導
- 4 胸腺――免疫応答
- 5 門脈――リンパ液の運搬

問題 60 高齢者の身体的特徴に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 味覚が低下する。
- 2 高音域が聞き取りにくくなる。
- 3 唾液の分泌が多くなる。
- 4 インスリンの分泌が少なくなる。
- 5 夜間の排尿回数が増える。

問題 61 次のうち、長期臥床により生ずる症状として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 沈下性肺炎
- 2 静脈血栓症
- 3 高血圧症
- 4 関節拘縮
- 5 褥瘡

問題 62 MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A MRSA感染症は、基礎疾患のある者に発症することが多い。
- B 病原性は非常に強い。
- C 院内感染の原因菌となる。
- D 接触感染することが多い。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 63 次のうち、感染が原因で起きる皮膚疾患として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 帯状疱疹
- 2 疥癬
- 3 白癬
- 4 皮膚カンジダ症
- 5 アトピー性皮膚炎

問題 64 脳梗塞に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 大脳半球に生じた脳梗塞による上下肢の麻痺は、病巣と同じ側に生じる。
- B 右利きの人では、失語症の病巣は左側にある。
- C 発症直後から麻痺した上下肢の関節に強い拘縮が見られる。
- D 心房細動が原因の一つとなる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 65 がんに関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 膵臓がんは、予後が不良であることが多い。
- B 早期胃がんは、予後が不良であることが多い。
- C 大腸がんは、食生活の変化とともに増加傾向にある。
- D 肝細胞がんは、肝硬変に合併することは少ない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 66 次のうち、浮腫を主症状とする疾患に該当するものを一つ選びなさい。

- 1 パーキンソン病
- 2 ピック病
- 3 バセドウ病
- 4 ベーチェット病
- 5 ネフローゼ症候群

問題 67 心筋梗塞に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 冠動脈内に生じた血栓が主な原因である。
- B 心臓の筋肉の一部が壊死する。
- C ニトログリセリンで発作が治まる。
- D 治療法の一つとして冠動脈バイパス術がある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 68 糖尿病に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A インスリンの作用過剰に基づく代謝異常である。
- B 合併症の一つに糖尿病性網膜症があり、失明することがある。
- C 1型糖尿病は、高齢者に多い。
- D 治療法には、食事療法、運動療法、薬物療法がある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

精神保健

問題 69 精神障害とその症状に関する次の組み合わせのうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 神経症-----幻聴
- B 認知症-----フラッシュバック
- C アルコール依存症--人格変化
- D 躁病-----観念奔逸

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 70 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A てんかんは発作が起こらなくなっても、服薬を継続する必要がある。
- B ストレスを引き起こす生活上の出来事が引き金となり、心因性に起こる精神病を症状性精神病という。
- C 統合失調症の症状は、幻覚、妄想を主とした陽性症状と、感情の平板化、意欲の欠如などを主とした陰性症状とに大きく分けられる。
- D 老年期うつは、不安・焦燥傾向を示しやすい。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 71 アルツハイマー病に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 男性に比べて女性に多い。
- B 緩徐に発症，進行する。
- C 早期に人格が変化する。
- D 最も多い初期症状は，記憶障害である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 72 脳血管性認知症に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 高血圧や糖尿病などが危険因子となる。
- B 記憶障害を伴うことが多い。
- C 感情失禁は見られない。
- D 多発性脳梗塞が原因であることが多い。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

介護概論

問題 73 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護保険法の改正で、要支援と要介護の状態区分が、併せて6区分から7区分となった。
- B 介護保険法に定義されている「居宅サービス」には、医師の訪問診療が含まれる。
- C 社会福祉士及び介護福祉士法において、介護福祉士が行う介護の対象は、身体上又は精神上的の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者とされている。
- D 社会福祉士及び介護福祉士法において、介護福祉士が業務を行うに当たっては、医師その他の医療関係者との連携を保たなければならないとされている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

問題 74 世界保健機関（WHO）が2001年に採択した国際生活機能分類（ICF）に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 機能障害（構造障害を含む）とは、個人が活動を行うときに生じる難しさのことである。
- B 活動とは、課題や行為の個人による遂行のことである。
- C 参加制約とは、個人が何らかの生活・人生場面にかかわるときに経験する難しさのことである。
- D 環境因子とは、人々が生活している物的環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境を構成する因子のことである。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	○	×	×

問題 75 介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 自立のための支援とは、身体的自立に限定した援助のことである。
- B 利用者の日常生活の自立可能な動作を把握して、セルフケアを尊重した支援を行う。
- C 社会的サービスの利用支援においては、利用者が自己決定しやすいように情報を適切に提供する必要がある。
- D 利用者の価値観や生活習慣に基づいた支援をするためには、利用者の生活歴を知ることとも重要である。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問題 76 介護過程に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者の状況は主観的情報と客観的情報からとらえる。
- B アセスメントにおいては、介護上の課題を把握することが重要である。
- C いったん決定した介護目標は、援助が終結するまで変更しない。
- D 介護計画は、いわゆる5W1Hを踏まえて具体的に立案する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	○	×	×	○
5	×	○	×	○

問題 77 居住環境に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「平成15年人口動態統計」(厚生労働省)によれば、65歳以上の者の家庭内で起きる死亡事故のうち、不慮の溺死及び溺水は、転倒・転落より多い。
- B 介護保険制度では、要支援の者への福祉用具貸与について、特殊寝台は、原則、給付の対象としていない。
- C 介護保険制度では、簡易浴槽や腰掛便座は福祉用具貸与の種目である。
- D 介護従事者は、利用者が適切な福祉用具を選択できるよう側面的に支援する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 78 訪問介護員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者が食事中、急に咳き込み食べ物を吐いた。まだ咳が続いていたが、喉に詰まったものが出たと判断し、食事介助を続けた。
- B 利用者が、熱湯を誤って自分の下肢にかけてしまった。発赤と疼痛があったので応急処置として水で冷やした。
- C 膀胱カテーテル留置中の利用者の尿に混濁が現れた。利用者に痛みの訴えや発熱もなかったため、様子を見ることにした。
- D 散歩介助中、利用者が転倒した。利用者は「大丈夫」と言ったが、まず、痛みの部位や腫脹の有無を確認した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 79 介護従事者の心身の健康管理、安全衛生に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 腰痛は、体型や介護時の姿勢に関係なく生じ、筋力を鍛える体操でも予防できない。
- B 手指の消毒には、逆性石鹼と普通の石鹼を併用するとよい。
- C 自分の気持ちを表現できる機会をもつことは、ストレス解消に効果がある。
- D 常時50人以上の労働者を使用する事業場では、労働安全衛生法により衛生管理者の配置が義務づけられている。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 80 次の記述のうち，日本介護福祉士会倫理綱領に記載されていないものを一つ選びなさい。

- 1 利用者本位，自立支援
- 2 専門的サービスの提供
- 3 記録の開示
- 4 利用者ニーズの代弁
- 5 後継者の育成

介護技術

問題 81 健康状態のアセスメントに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 血圧は、排尿を我慢していると低くなる。
- B 高齢になると、一般的に体温は高くなる。
- C 高齢になると、一般的に肺活量は低下する。
- D 脈拍は、利用者の不調を知る手がかりとなる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 82 福祉用具に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護保険制度によりいったん貸与された車いすは、機種を変更することができない。
- B ベッド上で座位にする際、背上げ機能よりも先に膝上げ機能を使用することで、安定した座位を確保できる。
- C 福祉用具使用の目的には、介護者の介護負担の軽減も含まれている。
- D エアマットは、臥床時の体圧分散を図ることを目的としている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 83 食事の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 生卵，こんにゃくは誤嚥しにくい。
- B 利用者の目線より高い位置からの食事介助は，誤嚥しやすい状態をつくる。
- C 食欲が低下している原因の一つとして，義歯の不具合がある。
- D 食事時のいすは，踵が床に着く高さで，テーブルは肘が楽に置ける程度の高さがよい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×

問題 84 排泄の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 女性の利用者が「便が出ました」と言ったので，肛門部から前方に拭いた。
- B 利用者が「便が出ない。おなかが張って苦しい」と言ったので，摘便をした。
- C 便秘気味だったので，看護師や栄養士に相談して，海草，さつまいもを使った献立にした。
- D おむつを交換したとき，黒色の便が観察されたので，便を保存して，看護師に報告した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 85 睡眠に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 高齢になると、一般的に夜間の睡眠時間が長くなる。
- B 睡眠にはリズムがあり、浅い眠りのノンレム睡眠と深い眠りのレム睡眠を周期的に繰り返す。
- C 空腹や体の冷えは、入眠の妨げとなる。
- D 日中の活動量を増やすことは、夜間の安眠のために有効である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 86 衣服と着脱の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 片麻痺がある場合、ズボンは健側からはく。
- B 寝たきりの場合、寝巻きは適度な大きさと背縫いがないものを選ぶ。
- C 肢体に障害がある場合、利用者の身体状況と好みを考慮して衣服を選ぶ。
- D 上肢に痛みを伴う場合、伸縮性のある素材で袖ぐりの大きな衣服を選ぶ。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 87 入浴介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 入浴前には、利用者に入浴の意思を確認し、健康状態の観察を行う。
- B 冬期は、居室、脱衣場、浴室の温度差が大きくならないようあらかじめ暖めておく。
- C シャワーは、必ず介護職員自身の肌で温度を確認して使用する。
- D 入浴後は疲労しているため、エネルギーを消耗させないように水分補給を控える。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 88 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 痛みを訴える人には、体位変換をしないようにする。
- B 安楽な体位でも長時間同一体位を続けると苦痛の原因になる。
- C 足浴には、安楽をもたらす効果がある。
- D 発熱時に頭部に氷嚢を当てる主な目的は、安楽をもたらすためである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 89 褥瘡の予防に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 自力で寝返りができない場合は、定期的に体位変換を行う。
- B 皮膚に発赤が見られる場合は、その部位をマッサージする。
- C 仰臥位で寝たきり状態の場合、褥瘡の好発部位は大転子部である。
- D 栄養状態を悪化させないことは、褥瘡の予防につながる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 90 薬の知識に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A カプセル剤が飲みにくい場合には、中の薬剤を出して飲んでよい。
- B 座薬は、冷蔵庫で保管する。
- C 同じような症状であっても、以前処方され飲み残した薬は使用しない。
- D 降圧剤は、利用者の判断で服用を中止してよい。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 91 一次救命処置（BLS）ガイドラインに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 倒れている人に遭遇した場合、まず周囲の安全と意識の確認を行う。
- B 気道の確保は頭部を後屈にし、あご先を挙上させて行う。
- C 気道確保後、自発的呼吸の有無の判断に迷う場合は、人工呼吸を行わずに様子を見る。
- D 自動体外式除細動器（AED）を使用できる者は、医療職に限られる。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

(介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 9 2 から問題 9 4 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Hさん（84歳，女性，要介護3）は，長年一人暮らしをしてきたが，腰椎圧迫骨折による腰背部痛の悪化により在宅での生活が困難となって，5年前に介護老人福祉施設に入所した。1年ほど前から認知症が出現した。また，ゆっくりしたペースであれば歩行器を使用して歩いていたが，次第に歩行時に足関節の痛みを訴えるようになり，痛みが強いときには車いすを使用しての移動となった。痛みの訴えは，歩行時のみならず夜間や人手の少ないときに多くなってきた。最近では日中でも「今は夜中だから」，「痛くなると困るから」と言い，行事などへの参加も減ってきている。また，食事動作は徐々に不安定になり，食事の途中で介助を求めるようになってきているが，外食のときには最後まで自分で食べることができている。入浴は見守りが必要ではあるが，シャワーチェアを使って自分のペースで行っている。排泄はトイレまで行っていたが，間に合わないことが多くなってきた。家族の面会はほとんどない。認知症も進行してきているようだ。

問題 92 Hさんのアセスメントに関する次の記述のうち，適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 排泄の失敗は，移動能力の低下だけでなく，認知症の進行も影響していると考えた。
- 2 夜間や人手の少ないときに痛みの訴えが多くなってきたのは，単なる痛みだけでなく不安感が大きくなってきたことによるのではないかと考えた。
- 3 施設外で最後まで自分で食べることができたのは，環境の変化と好きな食べ物を選ぶことができたためと考えた。
- 4 食事動作が不安定になってきているので，全介助に切り替える必要があると考えた。
- 5 行事への参加の減少は，痛みに対する不安と認知症の進行によるものだと考えた。

問題 93 足関節に痛みのあるHさんへの移動の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 痛みと歩行状態との関連は少ないと判断し、積極的に歩かせる。
- B 痛みが起きないように、車いすだけの移動にする。
- C 痛みの状態をよく観察する。
- D 歩行の介助の注意点を医療職に確認する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問題 94 Hさんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 排泄のリズムを観察し、定期的にトイレまで誘導する。
- B 排泄の失敗が多くなってきたため、おむつの使用を開始する。
- C 歩行が不安定となってきたため、入浴時には転倒しないように注意する。
- D 認知症の進行を防止するためにも、家族に面会に来るよう働きかける。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

(介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 95 から問題 97 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Yさん（84歳，女性，要介護3）は一人暮らしをしていたが歩行困難となり，共働きの長男夫婦と同居することになった。Yさんは，変形性膝関節症，高血圧のほか心不全による浮腫もある。主治医からは，1日1,200ml程度の水分制限と，心疾患に対する活動制限として，ベッド上安静，ポータブルトイレの使用，週1回程度のシャワー浴が認められている。認知症はない。昼間はベッド柵につかまりながら，ポータブルトイレになんとか移り排尿するが，夜間はおむつを使用している。Yさんは排尿の回数が少なくてすむように，水分摂取を控えている。朝・昼の食事は，長男の妻が出勤する前に用意したものを，ベッド上で食べている。Yさんのシャワー浴については，浴室が狭いこともあり，どのように介助したらよいかかわからず，長男の妻の休日に週1回身体を拭いている。

Yさんは今後も長男夫婦とともに過ごしたいと考えている。長男夫婦は仕事を辞められないこともあり，Yさんの在宅生活を継続できるか不安を感じ，介護支援専門員に相談した。訪問介護が開始され，週4回昼間に清潔保持と排泄の介助が行われることとなった。また，訪問看護も週1回開始されることとなった。

関係者間の連絡には，連絡ノートが使われている。また，Yさんの主治医から，介護支援専門員に，Yさんに適量の水分摂取を促すよう連絡があった。

問題 95 Yさんの訪問介護の開始にあたり，前もって確認しておくことに関する次の記述のうち，適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 Yさんの日常生活動作（ADL）の状況
- 2 長男夫婦の介護力
- 3 緊急時の連絡先
- 4 Yさんの地区担当の民生委員
- 5 Yさんの法定後見人

問題 96 Yさんの清潔保持と排泄の介助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A シャワー浴の前に、体調を確認する。
- B 下肢は汚れやすいので、タオルで力を入れて拭く。
- C 心臓に負担をかけないように、シャワーは肩から足元へと十分に温めていくようにかける。
- D ポータブルトイレに腰掛けて、シャワーボトル等を使って陰部洗浄をする。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 97 Yさんの水分摂取の介助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A Yさんの口唇、皮膚の乾燥の出現に注意する。
- B 体から水分が失われるときは電解質も失われるので、積極的に食塩水を摂る。
- C できるだけ水をたくさん飲むように促す。
- D Yさんに水分摂取の状況を聞いて、連絡ノートに記録する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

(介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 98 から問題 100 までについて答えなさい。

[事 例]

専業主婦であったNさん（72歳，女性，要介護2）は，73歳の夫と二人暮らしである。3か月前に自宅で転倒し，右大腿骨を骨折し，入院加療後，退院した。座位や立位は自力で保持できるが，歩行には介助が必要である。戸外での移動には車いすを使用している。食事，排泄，デイケア（週1回）以外は，ほとんどベッド上で過ごしている。

Nさんの食事は夫が作り，入浴の介助は，週1回の訪問介護を利用している。日中の排泄はトイレで行い，夜間はポータブルトイレを使用している。日夜共に時々排尿の失敗があり，夫はおむつを使用するよう強く勧めている。しかし，Nさんはおむつをすることを嫌がっており，飲水を控えている。夫ともあまり口をきかなくなった。夫も介護に疲労してきている。

問題 98 Nさんのアセスメントと介護計画に関する次の記述のうち，適切なものに○，適切でないものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 最近夫とあまり口をきかないのは，おむつの使用を促されていることへの反応でもあると考える。
- B 転倒の危険があるため，今の活動範囲を広げない。
- C 生活のリズムをつけるため，昼間は離床を促す。
- D 排尿の失敗があるため，身体の清潔に配慮する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 99 Nさんの排泄の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A おむつの使用は、Nさんのプライドを傷つける可能性があることについて夫と話し合った。
- B 排尿の失敗を防止するため、排尿の間隔を把握するよう夫に助言した。
- C ベッドからの転落による骨折を予防するために、ポータブルトイレの使用を禁止した。
- D 飲水を控えているのは、排尿の失敗を心配してのことではないかと考えた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

問題 100 Nさんの日常生活の支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 起床したら気にいった日常着に着替えることを提案する。
- B 歩行を安定させるため、右手に多点杖を持つことを提案する。
- C デイケアを週1回から2回にしてみてもどうかと提案する。
- D 夫の休養のためにもショートステイの利用を提案する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

形態別介護技術

問題 101 加齢による身体的変化に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 膀胱容量の増加により、尿意の間隔は長くなりやすい。
- B 喉の渇きを感じにくくなるため、脱水を起こしやすい。
- C 腸の蠕動運動の低下により、便秘になりやすい。
- D 嚥下反射の低下により、誤嚥性肺炎を起こしやすい。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 102 一人暮らしの高齢者への訪問介護員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者の身体上の変化を把握するために、洗濯物の量や汚れ具合などを見ることは大切である。
- B 初回訪問時、一人暮らしになった経緯や経済状態を詳しく聞く。
- C 一人暮らしが継続できるかどうか情報収集し、事業所を通して介護支援専門員に報告する。
- D 急病や事故への対応として、近隣や親族などの協力体制を整えるために介護支援専門員と相談しておく。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | ○ | × |

問題 103 寝たきりの人の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 活動の能力が低下しているので、安静を保ち体力の回復を待つ。
- B 体位を変える場合には、皮膚に摩擦を起こさないように配慮する。
- C 拘縮がある場合には、動かすと嫌がるので、動かさないようにする。
- D 肘や踵などにも褥瘡ができるので、注意して観察する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 104 認知症の人の理解や介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 重度であっても、本人の願いを理解していくことを基本とする。
- B 潜在能力を最大限にいかすことを基本とする。
- C 事柄によっては、適切に判断できる場合がある。
- D 不潔行為を避けるために、つなぎのパジャマを着せる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 105 視覚障害に関する次の組み合わせのうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 老視―――屈折異常―――拡大鏡の使用
- B 緑内障―――眼圧低下―――点眼薬のさし忘れ防止
- C 黄斑変性―――半側空間無視―――読む文字の拡大
- D 白内障―――目のかすみ―――眼内レンズの挿入

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 106 聴覚障害者、言語機能障害者の理解や対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 伝音性難聴では、補聴器の使用は有効であることが多い。
- B 高齢者の難聴では、感音性難聴が多い。
- C 感覚性失語では、聞いた話を理解することはできる。
- D 話し言葉だけで会話が困難な構音障害では、50音表を用いるなどする。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 107 脳梗塞で左片麻痺，高次脳機能障害をきたした人の日常生活で起こりうることに
関する次の記述のうち，適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食事の時に，右隣にいる人の分に手を出す。
- B 衣服の上下・左右を間違える。
- C 右側にある障害物に気づかず，よく衝突する。
- D ひげそりで，右側のひげをそり残す。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 108 関節リウマチの人の介護に関する次の記述のうち，適切なものに○，適切でな
いものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 症状は，天候や季節などの影響を受けない。
- B 病気になる前の生活習慣や日常生活を維持できるよう工夫する。
- C 日常生活での不便さは，関節の変形など外見だけでは判断しない。
- D 社会資源は，本人と家族の意向を尊重しながら適切に活用できるよう支援する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 109 内部障害のある人への介護従事者の介護に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 酸素療法をしている人が息苦しさを訴えた場合、本人の求めに応じて酸素量を調節する。
- B 心臓機能障害のある人では、利尿剤の服用によって便秘になることがあるが、本人からの訴えがなければ様子を見てよい。
- C 血液透析をしている人では、透析導入後しばらくは、頭痛、悪心、嘔吐、筋痙攣などの症状が見られることがあるので留意する。
- D 血液透析をしている人の食事管理は、医師の指示に従って、たんぱく質、塩分、水分、カロリーの摂取について留意する。

(組み合わせ)

- 1 A C
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 110 直腸ストマのある人への介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A パウチ内に下痢便があったが、本人が「大丈夫です」と言ったので、医療職に報告せず、そのまま様子を見た。
- B えびやねぎは臭気が、ごぼうやさつまいもはガスが発生しやすいことを説明した。
- C 浴槽に入る前に、ストマ部分を石鹼で強くこすって、よく洗うよう促した。
- D パウチ装着部位に皮膚のただれを発見したので、保護剤を多めに塗布して様子を見た。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 111 うつ病の人の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 症状が少しよくなったときなどに自殺を起こしやすいので、注意する。
- B 何もしようとしない人には、「頑張って」と激励する。
- C 服薬をやめてしまっている場合は、医療職に報告する。
- D 睡眠障害や食欲不振を伴うことが多いので、よく観察する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

(形態別介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 1 1 2 から問題 1 1 4 までについて答えなさい。

〔事 例〕

E さん（78 歳，男性，要介護 2）は，脳梗塞の既往があり，左片麻痺がある。心筋梗塞の治療のために入院していたが退院し，在宅生活復帰を目的に介護老人保健施設に入所した。医師からは心不全を指摘されており，利尿剤，血液凝固阻止剤などを服薬している。安静時に症状は見られないが，入浴，排泄などの動作時には，動悸や軽い胸痛，息苦しさなどの症状があるため，一部介助，見守りが必要である。車いすでの移動は許可されている。入所後の E さんは，安静にしたいという気持ちから，1 日のほとんどをベッド上で過ごしており，身の回りのことについては，介護職員に任せてしまうことが多くなってきた。食事や水分の摂取量も少ない。1 年前にがんで亡くなった子どものことを話すときには涙ぐむこともあるが，次第に気持ちも落ち着いてきているように見える。

問題 112 E さんの日常生活の介助に関する次の記述のうち，適切なものに○，適切でないものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 安静にしたいという E さんの気持ちを理解し，車いすでの移動を避け，終日ベッド上で過ごせるように工夫した。
- B 入浴時，本人の求めに応じて，浴槽に入っている時間を長くした。
- C 食事や水分の摂取量が少ないことについて，E さんに理由を聞いた。
- D 動悸や胸痛などの症状が出現するのはどのようなときなのか，動作と症状との関係を観察した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 113 Eさんの介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 亡くなった子どものことについて話し始めたら、すぐに話題を変える。
- B 夜間に息苦しくて眠れずにいる場合は、頭を低くし、両足を上げる姿勢をとる。
- C 座位でできるゲームや手作業などへの参加を促す。
- D 日ごろから、風邪をひかないよう注意する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 114 Eさんの服薬に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 在宅生活に向けての服薬の自己管理がしやすいように、朝・昼・夕に区分した箱を作り、使用してもらった。
- B 朝食をほとんど食べなかったため、食後の薬を服用しないよう助言した。
- C 利尿剤を内服しているので、排尿の回数や時間などを本人に確認し、看護師に伝えた。
- D 血液凝固阻止剤を内服しているため、日ごろから出血の有無について注意深く観察した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

(形態別介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Mさん（62歳，男性）は大学の教員をしていたが，約7年前に交通事故で脊髄損傷（身体障害者手帳1級）になった。半年間の入院後，大学を辞めた。その後は，妻と二人で自宅で学習塾を開いて生計を立てていた。

Mさんは，臍部以下の完全対麻痺，感覚障害及び膀胱直腸障害がある。寝返り，起き上がり，車いす操作は自分で可能であり，5cm程度の段差ならば，車いすで越えることができる。更衣，食事，整容など身の回りのことはすべて自立している。排尿は自己導尿で行い，排便は時間を決めてトイレで行っている。入浴はシャワー浴のみを行っている。しかし，すべての家事を担っていた主介護者である妻が脳卒中で入院したため，現在，一時的に身体障害者療護施設に入所している。妻の入院が長期化する見込みなので，一人で在宅生活をする準備をしている。Mさんは，退所したら，また，塾を再開したいと願っている。

問題 115 Mさんの身体の状態で日ごろから介護従事者が注意すべきことに関する次の記述のうち，適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 下肢にむくみが生じやすい。
- 2 下肢の筋痙攣が起りやすい。
- 3 仙骨部に褥瘡ができやすい。
- 4 股関節に拘縮が生じやすい。
- 5 急激な血圧上昇が生じやすい。

問題 116 Mさんの日常生活動作（ADL）に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 車いすへの移乗には、トランスファーボードの利用が必要である。
- B 自分で車いすのキャスター上げができる。
- C 短下肢装具を付けても、歩行は難しい。
- D 導尿時には、感染防止に留意する必要がある。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 117 Mさんの今後の在宅生活に向けてのケア会議において提案される内容に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 訪問介護員の派遣のため、介護保険制度を利用する。
- B 調理は自分でも行うことができるように働きかけていく。
- C 一人でもシャワー浴ができるかどうか、浴室の構造を確認する。
- D 塾は心の糧でもあり、Mさん一人でも続けることができるように支援する。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	×	○	○
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

(形態別介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

[事 例]

Fさん（78歳，女性，要介護4）は料理上手な専業主婦であったが，4年前にアルツハイマー型の認知症と診断された。その後も，夫の介護を受けて在宅生活を送っていた。1年程前から徘徊が激しくなり，介護への抵抗や失禁も見られるようになった。在宅生活の継続が難しくなり，3か月前に，ユニットケアを行っている介護老人福祉施設に入所した。

昼夜逆転気味の生活で，夜間はユニット内を歩き回っており，他の利用者の部屋に入ったりするなど落ち着かず，なかなか寝ようとしない。昼間は自分の部屋でボーッとすることが多い。以前は入浴が好きであったが，施設では入浴や着替えを嫌がり，介護職員に対して暴言を吐いたり叩いたりして，激しく抵抗する。失禁して汚れた下着をタンスの奥に入れてしまう。まれに機嫌良く入浴したり，トイレで排泄したりすることもある。

問題 118 Fさんに対するアセスメントに関する次の記述のうち，適切なものに○，適切でないものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 夫に可能な限り面会に来てもらうことは，昼間の生活を活性化するために有効である。
- B 失禁して汚れた下着をタンスの奥に入れてしまうのは，羞恥心や自責の念によるものである。
- C トイレで排泄できることもあるので，排泄パターンを把握する。
- D まれに機嫌良く入浴することなどは，まだら認知症（痴呆）の症状であると考える。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 119 Fさんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Fさんの思い出話を聞いたり、料理クラブなど趣味活動への参加をすすめた。
- B 介護職員に対しての暴言や抵抗は、その都度厳しく注意した。
- C 夜間、他の利用者の部屋へ入ったので、介護職員の部屋で一緒にお茶を飲むなどして落ち着かせた。
- D Fさんの訴えを根気よく聞くことにより、心身の状況を把握するとともに情緒の安定を図った。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 120 Fさんのユニットでの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 暴力行為が続く場合は、ケア会議を開いて対応を検討する。
- B 行動制限を強化すると、徘徊など不安定さが激しくなることも予測されるので、可能な限り自由な行動を認める。
- C 一緒に買い物や調理をするなどして、同じユニットに暮らす高齢者との交流が進むようにかかわっていく。
- D 徘徊が激しく他の利用者の迷惑になるので、直ちに他のユニットに居室替えをする。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |